



問い合わせ 市役所企画課 ☎ 57-8503

市政懇談会を開催しました。



・2月17日(木) 吉川総合センター ・22日(火) 赤岡保健センター ・24日(木) 夜須総合福祉センター



※たくさんのご意見・ご要望をいただきましたが、紙面の都合上、編集して掲載しています。
また、市からの回答については、当日お答えができなかった点等を補足しています。

地域の実情を市政に反映させていただくため、昨年11月から香我美町を皮切りに「市政懇談会」を開催しました。
2月には、吉川町、赤岡町、夜須町の各会場で、市長はじめ各課長などと意見交換を行いました。各地区から出された道路や水路の修繕や維持管理、教育問題、地震対策、市職員の在り方など、さまざまな意見や要望をピックアップして紹介します。また、野市町、香我美町でお答えできなかった質問についても、この紙面でお答えいたします。

●各会場の参加人数は地域在住の市職員を含めています



吉川町編

吉川総合センター 参加者 25人

教育環境の充実

教育を取り巻くさまざまな環境を充実していくことは、まちの将来に大きく関係していくこと。県とも連携して充実を図っていくこともしたい。

① 共働きしやすい環境の充実を
働ける場を行政が確保してくれても、働ける環境が整っていない。共働きができる環境作りとして、児童クラブの設立に向けて前向きに対処してほしい。

② 校区の見直しでバランスの取れた教育環境を
吉川小学校の児童数は、現在70人前後だが、人口流出等により、複式学級となる可能性がある。その対応として、野市町との校区の重複など校区の見直しを検討することはできないか。

③ 高校の学区全廃に向け、県と連携して城山高校の充実に取り組んで欲しい
香南市の中学生の進学先として重要な位置づけにある城山高校の定員確保と学校運営について、充実を図るよう市から県に対して申し入れをしているの

か。

① 共働きの家庭にとっては、放課後子どもたちが安心して過ごせる場所の提供が必要と考えています。

吉川小学校では、ニーズ調査を行った結果、放課後子ども教室の要望が多く、平成23年2月から開設しています。

今後、平成23年度の放課後子ども教室を運営していく中で、保護者の方のご意見やご要望をお聞きしながら、吉川地区の子どものために、どのような放課後を過ごす場を提供することが望ましいかを検討していきたいと思えます。

② 吉川小学校の4月の入学予定者は、17人と昨年より若干多くなる予定ですが、全体的に小規模校ということで、このままいくと複式学級も予想されます。対応として、野市地区と校区を重複させていくことも考えていかなくてはなりません。

また、みどり保育所も同じような傾向にありますので、小学校とあわせて対応を検討していきたいと思えます。

③ 県内の高等学校で閉校や定数減に
なっている中、城山高校は自衛隊の移駐などもあり、数年前に定数を増やしてもらいました。高校には、入学希望者が増えるよう、特色ある学校づくりを進めてもらうことも、高知大学へ推薦で入学できるような学力のレベルアップもお願いしております。

また、市としても教育振興費などで運営をバックアップしていきたいと思っております。

横井地区の排水機場について

周辺住民(横井地区)の要望もあり、鳥川へ水を流すよう排水機場が建設されていますが、大雨になれば鳥川の氾濫も危惧されます。建設する上で雨量等も計算に入れているのか。また、どのような事情で建設することになったのか。

横井地区の排水路は、豪雨時になると自然の力で鳥川へ排水することが困難となり、排水路の周辺地域が浸水被害を被っていました。この状況を解決するため排水ポンプの建設が昨年10月から始まっています。排水ポンプで鳥川に強制排水すると、川が氾濫するのではないかとのことですが、県河川課との協議では、許可条件として鳥川の計画高水位に達した時点でポンプを停止することが義務づけられています。したがって、川が氾濫する事態を招く前にポンプを止めますのでその心配はありません。

また、この排水機場は10年に1度の確率で発生する豪雨に対応するように設計していますので、想定以上の豪雨の場合、排水ポンプの処理能力を超え排水路周辺が冠水する可能性はあります。それではあまり効果がないのではという質問を良く受けますが、排水ポンプは、鳥川の水位が高くなる前の早い段階で排水を始めています。そうすることで冠水までの時間を遅らせることができ、そのときの水量によりますが冠水する確率は低くなるかと考えられます。

